

令和7年度職員提案 採用一覧

令和8年9月30日現在

	提案の題名	提案の採用内容
1	公共施設使用料に係る市内居住者みなし規定の見直し	受益と負担の適正化の観点から、近隣市町の住民を市民としてみなす特例（市民と同じ料金で使用可能とする取扱い）を設けている市民会館及び市民総合体育館について、その適用範囲を現在も継続して連携活動を行っている東備西播定住自立圏域の上郡町及び備前市のみに見直した。
2	公式LINE等による“行かなくていい市役所”（デジタル市役所）の実施	水道の開・閉栓、名義変更手続について、これまでの窓口・電話等による受付に加え、県電子申請システムe-TUMOを活用し、オンラインによる受付を開始した。
3	子の看護等休暇の半日取得	仕事と生活の両立支援の観点から、「子の看護等休暇」に加え、「配偶者の出産休暇」、「男性職員の育児参加のための休暇」、「短期介護休暇」の取得単位について、現行の1日又は1時間に加え、半日を選択できるようにした。
4	庁内の有志職員を活用した新任職員研修の充実	若手職員の離職防止や育成の観点から、有志職員を研修講師として、その特性に応じた幅広く柔軟な方法で新任職員研修を実施した。
5	庁舎地下食堂跡・談話室の有効活用	庁舎内の会議スペースを確保するため、庁舎地階の談話室の一角をパーティションで仕切り、作業台を設置することにより、簡易な打合せや作業ができるスペースを作った。